



“もったいない”を地域の温かさに変えて 区内の夏みかんでマーマレードづくり！

9日、高井戸地域区民センター（高井戸東3-7-5）で、「もったいない倶楽部」が、区内民家の庭先で放ったままになっている夏みかんを使い、マーマレードづくりを行いました。この活動は“もったいない”を実感しながら地域交流を図ろうと、8年前から取り組んでいる活動です。

もったいない倶楽部（代表：太田信司、会員：10名）は、区内民家の庭先で放ったままになっている夏みかんを活用し、マーマレード作りを行っている自主グループです。

グループ発足のきっかけは、区教育委員会が主催する地域づくりの担い手養成講座です。自分の興味や関心をもとに、地域づくりにつながる取り組みについて学んだ受講生が、講座終了後、2007年に立ち上げました。

マーマレードの材料となる夏みかんは、グループのメンバーの友人・知人の紹介や、道を歩いているときに偶々民家で見つけ、所有者と話して、提供していただきます。夏みかんが一定量集まると、様々な人に呼びかけ、マーマレードづくりを行います。出来上がったマーマレードは、障害者就労支援施設と協働し、菓子類の製造に利用してもらったり地域のイベント等で販売してもらったりしています。“もったいない”夏みかんを介して、地域の温かい交流を図っています。

9日、高井戸地域区民センターで、今年2回目のマーマレードづくりを行いました。今回は、地産地消をテーマに、区立環境活動推進センターが行う講座として、区民20名が参加してつくりました。

約7kgの夏みかんを細かく刻み、マーマレード特有の甘さと苦みのバランスをはかりながら砂糖で煮詰めていくと、甘酸っぱい匂いが部屋中に広がりました。マーマレードが出来上がると、持ち帰り用の瓶に詰めたり、皆で試食したりしていました。



代表の太田信司（65歳）さんは、「一般にマーマレードはたくさん売られています、皆と一緒に作る過程、またそれをいろんな方に喜んでいただけること。これらが活動の原動力となって、楽しく続けてこられたのだと思います。“もったいない”という思いを皆さんと共有しながら、夏みかんを介して、これからも地域の交流を図っていきたいです」と笑顔で話していました。

【問い合わせ先】

環境課・広報課

TEL：3312-2111（代表）

環境活動推進センター

TEL：5336-7352